

不祥事根絶に向けた取組 (校内コンプライアンス研修より)

銚田市立銚田南中学校長 宮内 孝浩

- 「自分事として捉える」意識の高揚
 - ・ 不祥事を起こした職員が「自分だったら、同僚だったら」という想定を常にもつ。
 - ・ 自分が不祥事を起こしたら、「自分の将来がどうなるのか、家族の立場はどうなるのか」という意識を常にもつ
- 「何が不祥事なのか」の再確認
 - ・ 体罰、暴言 ・ ハラスメント全般
 - ・ 金銭関係（つかいこみ等）
 - ・ 飲酒運転（酒気帯びや二日酔いも含む）
 - ・ データ漏洩（個人情報の不適切管理）
 - ・ 道路交通法違反（速度超過、一時停止無視、スマホ操作等のながら運転、シートベルト未着用）

3つの要素のうち、どれかを除けば不正・不祥事は減る



- ◎ **自分の職場から「不祥事を絶対に起こさない」という意識をさらに強くもとう！**

教職員わいせつ事案防止対策

- ・ 生徒と面談する際は、生徒と2人きりにならないよう、原則として2人以上の教職員で対応する。
- ・ 生徒と面談する際は、密室にならないよう、入口のドアを開けるなど、原則として外から見える環境を確保する。
- ・ 空き教室は必ず施錠する。また、整理整頓に努め、定期的に確認を行う。
- ・ トイレ等は教職員が定期的に見回りを行い、盗撮用機器などの不審物がないかチェックする。
- ・ SNSでの児童生徒及び保護者と私的なやりとりは行わない。
- ・ 教職員同士のコミュニケーションを大切にし、ストレスをため込まない、風通しのよい職場づくりを行う。

